

会 議 録

会議の名称	第1回 東由利地域協議会
開催日時	平成18年4月19日(金) 午後1時30分
開催場所	東由利総合支所 2階 第3・4・5会議室
出席者氏名	「出席者名簿」のとおり
欠席者氏名	梅津榮一、大日向操子、大庭時晴、梅津嘉一郎、畠山勉、 今野登和子、畠山鋼、小松信子、小島静子
<p>会議次第</p> <ol style="list-style-type: none">1. 開 会2. 会長挨拶3. 案件及び説明<ol style="list-style-type: none">1) 市役所組織機構の改正について2) 平成18年度予算の概要について3) 平成18年度東由利地域の主な事業について4. その他5. 閉 会	
会議の経過	別紙のとおり

出席者名簿

(地域協議会委員 20名)

役職名	氏名	備考
会長	遠藤 忠平	
副会長	長谷山 光	
	村上 主江	
	阿部 清太郎	
	小番 正裕	
	阿部 陽悦	
	阿部 竹雄	
	阿部 一郎	
	畠山 与一	
	小松 勝男	
	小松 佳和	
	大沼 武彦	
	谷口 幸子	
	阿部 タツ子	
	大日向 幸子	
	石渡 力造	
	金子 拓雄	
	高橋 慶助	
	小松 耕之助	
	長谷山 博昭	

区 長	佐藤 知泰	
総合支所長	今野 喜次	
市民課長	佐藤 順一	
福祉保健課長	佐々木 喜隆	
建設課長	小松 建	
産業課長	柴田 和尋	
教育事務所長	高橋 悦子	
東光苑施設長	大庭 敏昭	
事務局	高橋 裕子	
	佐々木 晃子	

会議の経過

第1回 東由利地域協議会

と き 平成18年4月19日(水)
午後1時30分～3時30分
ところ 東由利総合支所
2階 第3・4・5会議室

1. 開 会 午後1時30分

2. 挨拶

会長挨拶

合併して1年が経過し、反省点や検討すべき課題が出てきており、新聞などでも報道されている。

昨年、この協議会にとって最も重要な課題であった総合発展計画、基本計画、国土利用計画は、議会を経て成案になった。今後10年間はその計画に基づいて運営されていくことと思う。

今日は、行政組織の機構改正や今年度予算の概要について、皆さんの忌憚のないご意見をいただきたい。

今野総合支所長挨拶

念頭の訓辞のなかで市長が、「由利本荘市を全国に誇れる日本一の市にしたい」と述べた。由利本荘市が日本一になるためには、各地区が日本一に向けて邁進しなければならない。地域の代表でもある協議会委員の皆様には地方自治はもちろん、様々な面で活躍していただき、また行政に対するご協力をお願いしたい。

3. 案件及び説明

1) 市役所組織機構の改正について (資料1)

事務局

(組織機構の改正点について説明)

議長

不明な点がある方はいらっしゃいませんか。

A委員

新しい課を作った趣旨を教えてください。

事務局	総務部の収納課については、徴収に力を入れるため。建設部の建設維持課に管理班と維持班ができたのは、道路管理と道路維持を別個に進めるためと聞いている。
B 委員	機構が整理されて便利になった点などを知りたい。
今野総合支所長	総合支所については従来どおりと考えていただいてもよい。今回の改正は紛らわしさを解消し、すっきりした形にするためのもの。例えば、隣り合わせにあった本庁の市民課と本荘総合支所の市民課については、市民や行政内部からも紛らわしいという意見があり統一された。他には、教育委員会と本荘教育事務所の統一などがある。
C 委員	市民にとっては細かいところまで理解しなくても良いと思う。ただ、この改正によって住民サービスが向上、または低下するという点があれば教えてほしい。 この改正が新市の構想から外れる部分はないのか。
今野総合支所長	住民サービスの向上が大前提の改正。市民が理解しやすい、利用しやすい組織を目指したものだとして理解していただきたい。

2) 平成 18 年度予算の概要について (資料 2・3)

今野総合支所長	(平成 18 年度予算の概要について、資料 2 の要点、主要事業を抜粋して説明) (ケーブルテレビ事業について、資料 3 のほか、これから地域単位の説明会を開催し、平成 19 年 4 月 1 日から使用開始となる旨を説明)
D 委員	前年度予算と比較できれば分かりやすい。市全体ではなく東由利地域に関する資料もあればよい。 ケーブルテレビについてだが、具体的に要望があったわけでもなく、なんとなく進められているように感じる。また、民間事業と行政サイドの事業が一緒になっているという印象を受けるが。
今野総合支所長	東由利地域の主要事業については、案件 3 (資料 4) で各課長が説明する。
議長	案件 2 と案件 3 を続けて説明した方が分かりやすい。東由利地域の主要事業について説明を受けてから、案件 2 と案件 3 の意見交換を合

わせて行いたい。

3) 平成18年度東由利地域の主な事業について (資料4)

各課長 教育事務所長 施設長	(東由利地域に関する主要事業について概要を説明)
今野総合支所長	前年度予算と比較できればとのご意見があったが、前年度は旧市町の持ち寄り予算で、全体として今年度と比較するのは難しい。各総合支所の積み上げによって本庁に予算措置されているものもあるので、ご理解いただきたい。 また、ケーブルテレビについては、旧大内町で以前から導入していたもので、全市に事業拡大しているものである。
議長	ケーブルテレビの事業拡大については、合併協議の中で「情報の一元化を進めていく」という話し合いが行われた経緯もある。
B委員	合併当初の財政計画では、だいたい1年ごとに予算が15億円ずつ減っていき10年間で150億円くらいの減と考えていた。しかし、今年度494億円でいきなり34~35億円の減となっている。基金も半分に目減りした。このままいけば中心部の事業が優先され、周辺地域にはますます予算がつかないのではないかと懸念される。残りの9年間をどうやっていくのかという不安がある。
佐藤区長	今年度予算については、経常経費が前年度の1割カットとの指示が出され、当初予算から厳しい状況だが、議場改修と寄宿舍の解体以外は大抵の予算がとれたと思う。
今野総合支所長	懸念されることは確か。危機感を持っている。今後も予算が付くよう努力していきたい。
A委員	東由利にはなかった新しい特別会計について教えてほしい。
今野総合支所長	由利本荘市の特別会計は、すべて既存のもので新しくできたものはない。「休日応急診療所」は本荘地域の旧温泉病院、「情報センター」は大内地域にあるイントラネットの拠点施設、「休養宿泊施設」は鳥海荘のこと。

C 委員 毎年行われている座談会で身近な課題や要望が出されている。この東由利の予算の中にもそれが組み込まれていると思うが、落とされたものについても補正を組むなどしてできるだけ対応して欲しい。

今野総合支所長 よく吟味して予算に上げていきたい。

4 . その他

E 委員 収益の使い途のことを考えると分収林の処分が進まない。神社や仏閣には使えないとされているが、各集落ごとにあるものなので認めても良いのではないかと。収益を自由に使っても良いとしてほしい。

柴田産業課長 神社や仏閣には使えない。また、個人配分もできない。まずは使用計画を出して担当と相談してほしい。

F 委員 地域協議会の資料は、事前に目を通しておきたいので前もって郵送してほしい。

5 . 閉 会 午後 3 時 3 0 分